

平成 25 年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：平成 25 年 10 月 24 日（木）13：00～14：00

場所：磐梯熱海温泉 華の湯 「比翼」

出席者（敬称略）：相川厚、芦田明、伊丹儀友、香美祥二、北田秀久、穴戸清一郎、白髪宏司、杉谷篤、高橋昌里、谷澤隆邦、野島道生、服部元史、本田雅敬、柳原俊雄、吉村了勇、渡井至彦、和田尚弘（以上 17 名、欠席 12 名のうち委任状 12 名）

第 35 回日本小児腎不全学会本田雅敬会長の挨拶、そして今年度から評議員に就任された北田秀久先生、野島道生先生の挨拶につづき、以下のように各議題が討議された。

議題

(1) 会計報告・予算案

平成 24 年度の会計報告ならびに平成 25 年度の予算案が事務局より報告された。会計報告が適正なことが監事である伊丹儀友評議員によって報告され、平成 24 年度の会計報告と平成 25 年度の予算案が了承された。

(2) 会員動向

平成 25 年 3 月 31 日現在の会員数は、正会員 472 名、名誉会長 2 名、名誉会員 11 名であると事務局より報告された。会員数は少しずつ増加しているものの、筆頭演者は会員である必要性を引き続き周知徹底させることが確認された。

(3) 名誉会員の推薦

坂野堯先生、島田憲次先生が名誉会員に推薦され、了承された。

(4) 評議員の推薦

力石辰也先生（聖マリアンナ医科大学腎泌尿器外科）、賀本敏行先生（宮崎大学医学部泌尿器科学分野）、藤枝幹也先生（高知大学医学部小児思春期医学）、大田敏之先生（県立広島病院小児腎臓科）が新評議員に推薦され、了承された。なお、現評議員のご定年、地域性、専門性（外科・泌尿器科系、小児科）などを考慮して、来年の評議員会でも新評議員を推薦することとなった。

(5) 次々期会長の選定

第 37 回会長（平成 27 年度）に芦田明先生（大阪医科大学小児科）が推薦され、了承された。

(6) その他

- 1) 学会単位について、日本小児科学会 3 単位、日本透析医学会 3 単位、日本臨床腎移植学会 1 単位取得できることが確認された。日本腎臓学会および日本腎不全看護学会に関しては事務局にて確認を行う事になった。
- 2) 事務局より、学会雑誌作成費用に関して、雑誌のサイズを A4 版に変更するなどして 1 ページあたりの単価が安く抑えられていると報告された。なお、有料別冊代やページ超過代の未納者には督促することが確認された。また、優秀演題応募論文にもページ超過代はかかる事の周知が必要とされた。
- 3) 製薬企業に対する広告協賛は厳しくなっており、広告収入の減収が報告された。
- 4) 前回の評議員会での決定に従い、第 33 巻（平成 25 年 7 月発行）掲載論文から論文投稿に際して自己チェックシートの提出が義務付けられたが、個人情報保護の注意喚起をさらに行うこととなった。
- 5) UMIN のパスワード及び ID が学会事務局にて管理されており、会長は利用できる事が周知された。
- 6) 今回 2 回目の優秀演題賞の選定は評議員と座長が採点を行う事になった。
- 7) 第 14 回小児医学川野賞候補者推薦の依頼について案内が、事務局よりなされた。
- 8) 今回の大会において、参加者の職種把握が行われていることが報告された。

(7) 次期会長の挨拶

第 36 回会長の杉谷篤先生より会期の変更と準備状況が報告された。

平成 26 年 10 月 30 日（木）～10 月 31 日（金）、しんじ湖温泉 ホテル一畑（島根県）

日本小児腎不全学会事務局
議事録作成 服部元史
議事録署名人 本田雅敬
杉谷篤

